

屋島活性化基本構想の実現に向けた推進組織の設置について

1 屋島活性化基本構想策定の経緯

屋島は、瀬戸内海国立公園ならびに国の史跡天然記念物に指定されており、山上からの多島海景観の眺望が優れているほか、四国霊場八十八箇所や源平合戦などに関わる人文景観も豊富な、本市が誇れる貴重な地域資源である。

一方で、屋島への観光客数は、瀬戸大橋の開通や山上水族館のリニューアル等により、持ち直した時期はあるものの、長期低落傾向にあり、また、屋島山上においては、建物が廃屋として放置されるなどの問題が顕在化するとともに、平成16年には屋島登山ケーブルが休止され、再開することなく廃止に至った。

しかし、最近では、日本書紀に記されている古代山城の一つである「屋嶋城跡」が、確認されるとともに、廃屋の撤去が進むなど、屋島再生につながる好ましい兆しも見られていることから、これらを契機として、屋島が有する文化財等の保存・活用を核とした「屋島」全体の活性化が強く求められている。

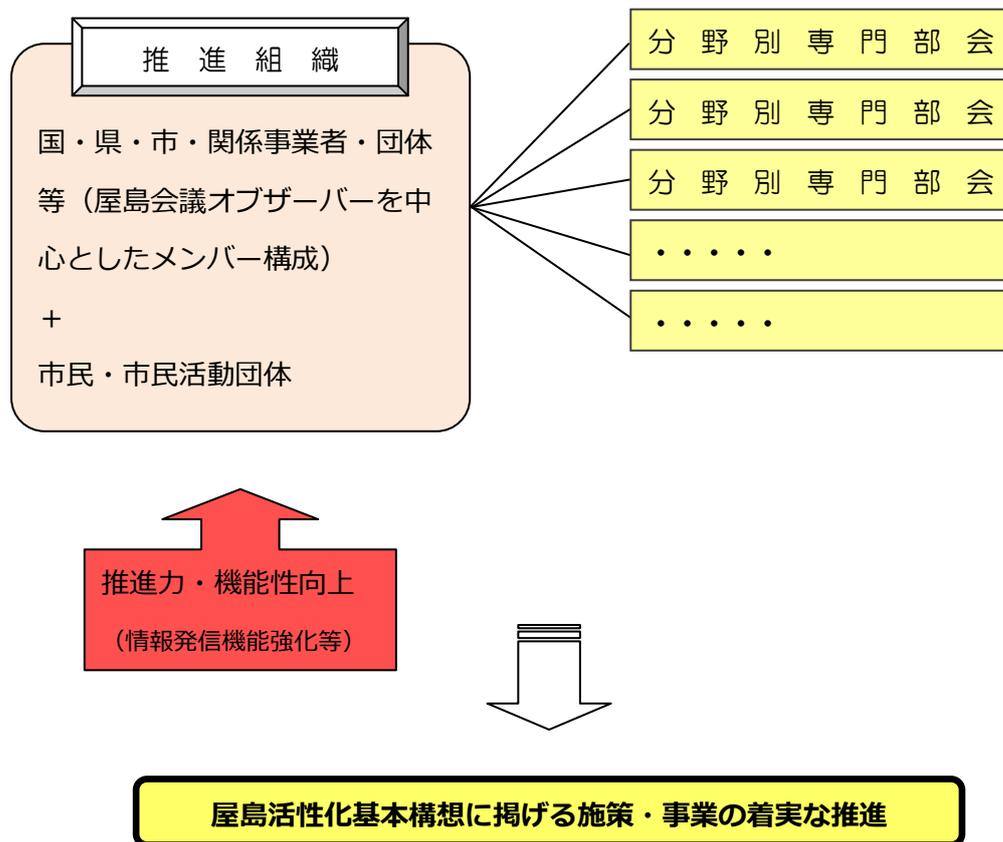
こうした背景を踏まえ、屋島の持続性のある活性化に向け、市民と一体となって、その特性や価値の保存と地域資源としての有効活用を図るために必要な基本方針や具体的方策を明らかにし、今後における本市の施策・事業に反映させることを目的に、屋島活性化基本構想（仮称）を策定することとし、23年8月に、屋島に関わる各分野の有識者等で構成する屋島会議（会長：植田和弘京都大学大学院経済学研究科教授）に対し、基本構想に盛り込むべき事項等について諮問し、同会議においては通算7回の会議による調査・検討を経て、24年11月に「屋島活性化基本構想（仮称）最終報告」として取りまとめられ、答申を受けた。

本市においては、この最終報告の内容を踏まえ、25年1月に「屋島活性化基本構想」を策定したところである。

2 推進組織の設置についての基本的な考え方

屋島活性化基本構想では、この基本構想に掲げる施策・事業を着実に推進するため、屋島会議にオブザーバーとして参画した関係機関・団体を中心メンバーに、市民や市民活動団体の参画を得て、屋島活性化取組の推進主体として、具体的な取組事項の検討や協議を行う、実行力の備わった推進組織を設置することとしている。

具体的には、主に事業実施主体代表者、屋島会議委員、関係市民団体代表者で構成する協議会を設置し、進行管理や全体的な調整を行い、協議会の下に事務レベルによる専門部会を設け、大学生、公募による市民も参画し、具体的な取組を検討する。



3 推進体制の役割

(1) 協議会

ア 屋島の保存と活用による活性化に向け、屋島活性化に関する提案・実施に向けた関係機関との協議。

イ 専門部会からの協議結果についての報告を基に、基本構想に掲げる施策・事業を始め、屋島活性化に資する取組についての総合的かつ計画的な進行管理。

ウ その他、推進協議会の目的を達するために必要な事項についての協議。

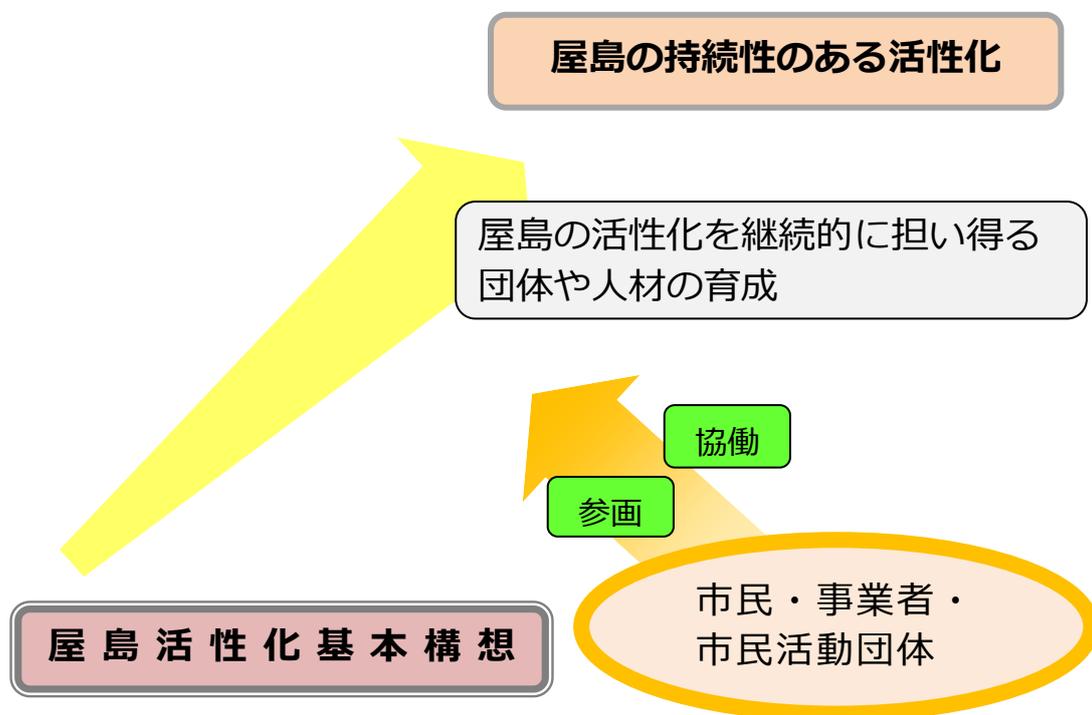
(2) 部会

ア 協議会から提案を受けた屋島活性化に資する取組事業の提案について、具体的な内容、実施主体等の協議。

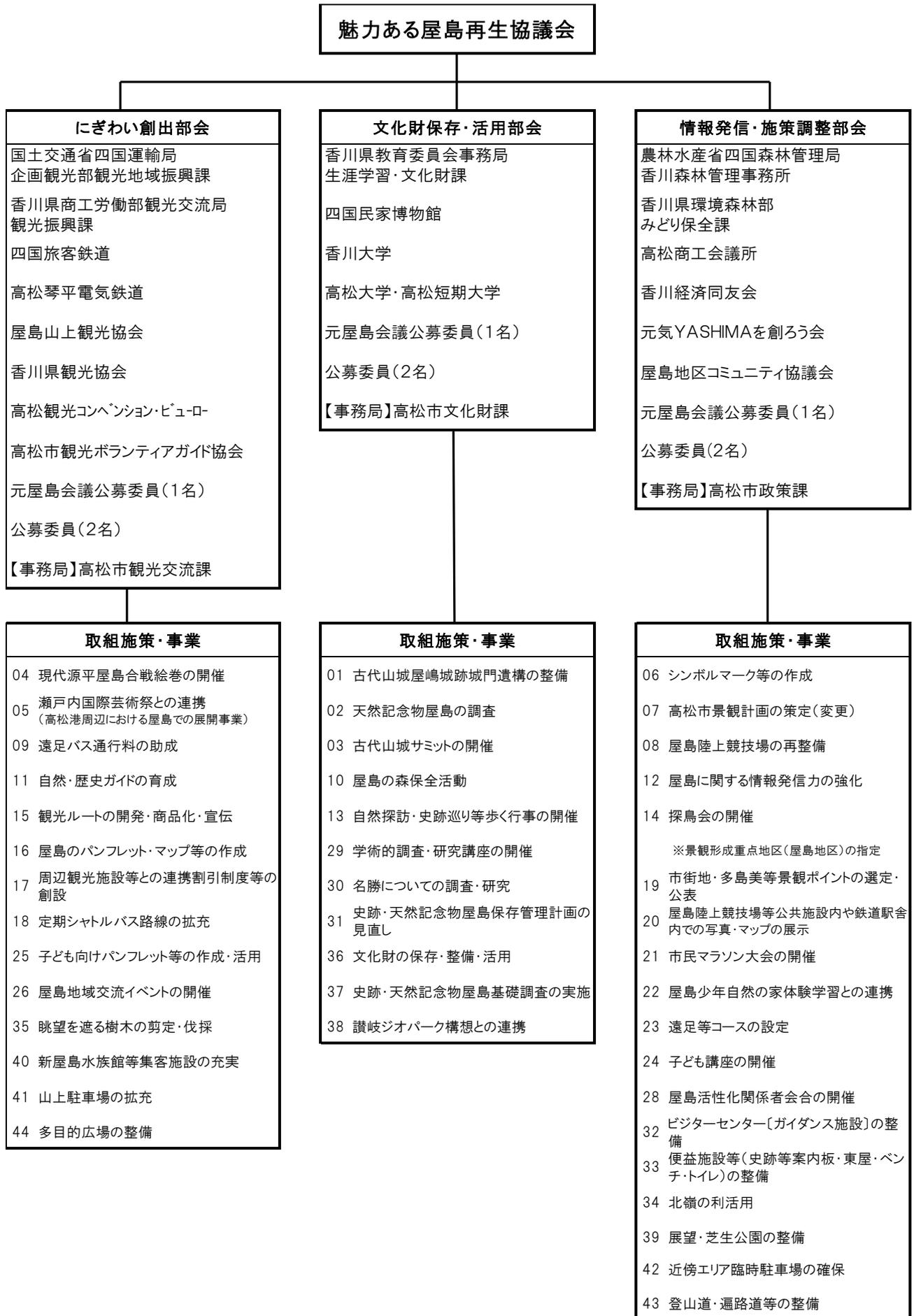
イ 分野別における活性化方策の具体化について、実務的な検討・協議。

ウ 部会長は、専門部会での協議結果を、推進協議会に報告。

なお、活性化方策の持続的な取組のためには、行政主体ではなく、市民主体、また、行政と市民等との協働による推進が望ましいことから、平成28年度を目途に、市民、事業者、市民活動団体が主体となる推進組織への移行を目指す。



4 組織構成



※ 「27 推進組織の設置」は、目的達成

にぎわい創出部会 平成26年度活動状況及び27年度の方向性等

第1回会議	開催日時	平成26年6月30日(月) 午後1時30分～		
	開催場所	高松市役所 12階121会議室	出席者数	10人
	議 題	(1) 平成26年度第1回魅力ある屋島再生協議会の協議内容について (2) 平成25年度の実績結果について (3) 平成26年度に実施する重点取組事業の選定について (4) その他		
第2回会議	開催日時	平成26年10月1日(水) 午後1時30分～		
	開催場所	高松市役所 11階114会議室	出席者数	7人
	議 題	(1) 平成26年度重点取組事業の取組状況について (2) 平成27年度事業の方向性について (3) その他		
第3回会議	開催日時	平成27年2月24日(火) 午後1時30分～		
	開催場所	高松市役所 13階大会議室	出席者数	10人
	議 題	(1) 平成26年度実績について (2) 平成27年度事業計画及び部会のあり方について (3) その他		
重点取組施策・事業				
No.15 観光ルートの開発・商品化・宣伝 No.26 屋島交流イベントの開催				
活動内容等				
<p>○重点取組事業について、各委員が所属する団体の活動を調査し、情報共有した。</p> <p>○重点取組事業について、意見交換した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点取組事業の2事業を効果的に実施することで、本部会が所管する全ての事業に良い影響が波及する。 ・より良い商品を作るためには、事業を改善しながら、繰り返し実施していくことが必要。 ・屋島単体で集客するのは困難なので、屋島と何かを組み合わせで考え、ストーリー性を高めることが必要。 (屋島プラスワン や 屋島プラスアルファで考える。) <p>○屋島プラスワンの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗林公園や金毘羅などの「周辺観光地」や、牟礼の牡蠣などの「食」との組み合わせで考える必要がある。 ・ターゲットに合わせて考える必要もある。ジョージナカシマのような「アート」なのか、庵治石のような「産業」や「工芸品」なのか。それを屋島周辺のものとどう組み合わせでいくのか。 ・ありきたりなものではなく、「ニッチなもの」とかを磨き上げていくことも必要。 ・「広域的」に考える必要もある。例えば、「源平」というキーワードで、兵庫県から山口県までを巻き込むなど。 				

27年度に向けての方向性・意見等

○方向性について

- ・引き続き、今年度の重点取組事業の2事業を重点的に取り組んでいく。

○意見等

- ・地元住民から愛されていることが県外に伝わることで、誘客に繋がるので、県内へのアピールも重要で、県民を挙げての取組みとなることが大切である。
- ・関係者で調整をしながら、切れ目なくイベントを実施してはどうか。
- ・なぜ血の池は黒いままなのか、なぜカワラケ投げの目標となる木が見えないのか、事業にあたっては、もう少し現場を見て、考えて欲しい。
- ・源平屋島地域運営協議会と委員等が重複しており、2つの組織の整理が必要ではないか。

文化財保存・活用部会 平成26年度活動状況及び27年度の方向性等

第1回会議	開催日時	平成26年7月8日(火) 午前10時～		
	開催場所	高松市埋蔵文化財センター 2階 講座室	出席者数	7人
	議 題	(1) 平成26年度事業計画等について (2) その他		
第2回会議	開催日時	平成26年10月21日(火) 午前10時～		
	開催場所	高松市埋蔵文化財センター 2階 講座室	出席者数	8人
	議 題	(1) 平成26年度事業計画進捗状況について (2) 平成27年度事業計画・方向性について (3) その他		
第3回会議	開催日時	平成27年2月27日(金) 午後2時～		
	開催場所	高松市埋蔵文化財センター 2階 講座室	出席者数	7人
	議 題	(1) 平成26年度事業の取組み状況について (2) 平成27年度事業計画(案)について (3) その他		
重点取組施策・事業				
No. 1 古代山城屋嶋城跡城門遺構の整備 No.37 史跡・天然記念物屋島基礎調査の実施 No.29 学術的調査、研究講座の開催				
活動内容等				
<p>○古代山城屋嶋城跡城門遺構整備事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城門北側城壁復元工事等、27年度が最終年度としており、27年度は、周辺環境整備、完成後の石垣測量等を実施する予定。 <p>○史跡天然記念物屋島調査事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡調査 3カ所(屋嶋城跡等)を重点的に調査を実施している。 ・名勝調査 京都府立大学へ調査を委託し、27年度は詳細調査をする予定 <p>○史跡・天然記念物屋島活用事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム、連載講座、企画展など開催。現在の進捗状況を説明した。 ・27年度は、屋嶋城跡城門遺構整備関連事業を組み入れた内容として報告した。 				

27年度に向けての方向性・意見等

○方向性について

・引き続き、今年度の重点取組事業を継続し、古代山城屋嶋城跡城門遺構整備事業の完了に向けて取組んでいく。

○意見等

- ・見学ルートへのアクセス、遊歩道の整備について、植栽などを考えてほしい。
- ・城跡の石垣が遠くからも見えるように、樹木の伐採をしてほしい。夜間などライトアップしたらどうか。
- ・城門の復元についての質問があったが、城門の史料的な根拠が少ないため、実物の復元は難しいが、模型・映像などの予想図を作る方策を検討していると回答した。

○その他の意見等

観光に対する意見があったので列記する。

- ・屋島の「檀の浦」と長門の「壇の浦」をタイアップさせてPRしてみてもどうか。
- ・史跡等へ向かう案内板が古い情報であったり、日本語表記のみになっている。
- ・外国人は、電車・バス・徒歩などで屋島に来られる人が多く、琴電屋島駅にあるインフォメーションが対応されていない。無人駅なのに、かなりレトロな案内板のみである。歩き遍路の方に対しても、簡単な紙切れ1枚のみである。

情報発信・施策調整部会 平成26年度活動状況及び27年度の方向性等

第1回会議	開催日時	平成26年6月26日(木) 午後1時30分～		
	開催場所	高松市役所 11階113会議室	出席者数	11人
	議題	(1) 平成26年度第1回魅力ある屋島再生協議会の開催結果について (2) 平成26年度重点取組施策・事業の選定と協議について (3) その他		
第2回会議	開催日時	平成26年9月24日(水) 午後2時～		
	開催場所	屋島山上 れいがん茶屋	出席者数	9人
	議題	(1) 屋島山上の便益施設について (2) その他		
第3回会議	開催日時	平成27年3月25日(水) 午後1時35分～		
	開催場所	四番丁スクエア 2階 講座室	出席者数	9人
	議題	(1) 屋島山上の便益施設調査結果等について (2) 屋島ナビの状況報告について (3) 平成27年度事業の方向性について (4) その他		

重点取組施策・事業

No.12 屋島に関する情報発信力の強化

No.33 便益施設等(史跡等案内板・東屋・ベンチ・トイレ)の整備

活動内容等

○平成26年2月に高松市が開設した屋島関係情報ポータルサイト及びフェイスブック「屋島ナビ」訪問者の増加策について協議した。

- ・「屋島ナビ」のPRの推進(P Rチラシなど)
- ・他のホームページからのリンクを増やす。
- ・情報提供団体を増やす。
- ・イベントカレンダーの掲載など、機能の充実。
- ・屋島ナビ推進員の導入(屋島特派員)

○屋島関係のパンフレット類が目的別に揃っているかなどについて、意見集約した。

- ・目的(観光、学習、レジャー)、対象者(外国人、年齢)に合せた内容とし、それらに沿った設置場所に設置・配布する。
- ・戦略的に整理する。【県外プロモーション(ポスターなど)、誘客用案内(広域PR用パンフ、屋島PR用チラシ)、現地案内(屋島山上用マップ)】
- ・観光案内所の連携【高松駅前、広域連携(庵治、牟礼、志度、塩江、仏生山)、屋島山上(新規開設)】
- ・広報媒体の設置場所の確保、(周辺観光施設、うどん店等民間商業施設、近隣道の駅など)

活動内容等

- 屋島山上（南嶺）の現地視察を行い、便益施設の現状について意見交換した。
- ・定期的な点検により、老朽施設の更新や破損個所の修理が必要である。
- ・案内内容についても、最新の情報であるよう、適時更新が必要である。
- ・トイレは、重要な施設であり、明るく、清潔で、利便性の向上を図る必要がある。
- ・外国人観光客や個人客を意識した案内が必要である。
- ・山上全体として、情報提供の方法に、一定の統一感が必要である。
- ・各種施設のユニバーサルデザイン導入(バリアフリー)
- ・案内看板の内容は、周遊を促す工夫を導入する。(見どころの景観写真などを盛り込んだ広域的な案内看板)
- ・I Tと連動した案内看板の導入(詳しい説明文などはスマートフォンで確認できる。)

27年度に向けての方向性・意見等

- 「屋島ナビ」の来場者拡大のために、以下の点を充実してもらいたい。
- ・屋島ナビのより一層のPRの推進（リンクの拡大）
- ・屋島ナビの利活用者（情報発信者）の拡大
- ・屋島ナビの機能の充実
- ・屋島ナビ管理運営の民間管理の検討(規制緩和)

- 「広報活動」の戦略的な推進のために以下の取組をお願いします
- ・広報媒体は、目的別、用途別に整理して作成し、用途に合わせて設置場所を確保し、計画的に効果の出る情報発信を行う。
- ・周辺地域の官民の施設を巻き込んだ、屋島情報の発信を相互的に行う。
- ・人的な観光情報発信の交流を加速させるために、屋島山上に有人の常設観光案内所を設置する。

- 「便益施設」について、以下の取組をお願いします。
- ・定期的な点検体制の確立
- ・持続可能な維持管理体制の確立(委託先の見直しなど)
- ・便益施設の整備の見直し(各委員の意見を参考に)
- ・観光地再生美化運動事業の開催(年一回)

屋島活性化基本構想 具体的施策・事業の取組状況一覧

※具体的施策・事業の左側番号は「別表 屋島活性化に向けて実行すべき具体的施策・事業の取組状況」の通し番号である。



※ **緑** 実施済 12施策・事業

※ **青** 実施中(実施見込みの検討中を含む) 29施策・事業

※ **橙** 課題等整理中(No.41,42)、事業見直し(No.9) 3施策・事業

全44施策・事業